

厚生労働行政推進調査事業費補助金
政策科学総合研究事業

かかりつけ医の普及に向けた患者の医療機関選択や受療状況把握に関する研究
(H29-政策-指定008)

研究代表者 松田 晋哉

研究要旨

他国との比較において、我が国のかかりつけ医の在り方について考察を深めることが本研究班の本旨であり、本年度は特に総合的な診療に従事する医師の教育のあり方についてをメインテーマとした。研究手法は主に文献および現地でのインタビュー調査等を行った。

結果として、各国のかかりつけ医の比較表や我が国での総合的な教育や資格の現状、および海外のネットワークの例などを分担者と共に纏めている。

結論と提言として我が国においては、(1) 大学以外での医学部臨床教育の積極導入、(2) 医療提供者ネットワークによるピアレビューの充実、(3) かかりつけ医教育と専門医教育の整合性、の3点が現状では検討すべき点と考えられた。

昨年度までの諸外国における家庭医・総合医の実態調査の結果を踏まえた上で、国内外でかかりつけ医的枠組みでプライマリケアを提供している事例を参考に、我が国におけるかかりつけ医的サービス提供の実態について医療と介護レセプトを連結したデータベースを用いて分析し、今後我が国が整備すべきかかりつけ医体制のありかたについて検討する。特に、医療レセプトデータを使用して患者受診の実態を調べた上で、地域特性、外来主要疾患と医療施設、医療行為(薬剤の処方パターンを含める)との関係を明らかにすることで我が国のかかりつけ医の現状を的確に把握し、その在り方について提言することを目的とする。

H29年度かかりつけ医調査報告スケジュール

